



友の会の定期総会が開催されました！！

平成 25 年 5 月 12 日(日)松浦武四郎記念館会議室において、平成 25 年度松浦武四郎記念館友の会の定期総会が会員 36 名出席のもと開催されました。

先ず、飯田会長の挨拶の後、来賓として三雲地域振興局の世古局長から挨拶を頂戴しました。

高瀬役員の司会で議事次第にもとづき進行され、平成 24 年度活動報告を佐波副会長、会計報告を中島会計、監査報告を稲垣監事、平成 25 年度事業計画と予算計画を担当役員が説明しました。

又、途中で役員変更(米川利美さんが退任され、唐津巳喜夫さんが就任)について飯田会長から報告がありました。

最後に質疑・応答があり全てについて承認されました。



総会出席者



司会の高瀬さんと飯田会長



来賓挨拶される世古局長

平成 24 年度に実施された主な事業

- ☆ 研修バス旅行(高砂市の曾根天満宮他)を読む会との共催で実施
- ☆ 佐佐木信綱記念館との交流会実施
- ☆ 友の会主催の特別講演開催(3 回)
- ☆ 市政バスによる松阪市内(浄化センター・原田二郎旧宅・健康センター)見学
- ☆ 友の会の活動展示(三雲地域振興局ほっとギャラリー)
- ☆ エゾヤマザクラ関係(原田積善会の助成で看板設置、サクラ苗木管理)
- ☆ 会員懇談会の実施
- ☆ 武四郎まつりに協力
- ☆ 友の会だより年 4 回発行

平成 25 年度事業の方向性

- ☆ 毎月第 2 日曜日に開催される記念館の「武四郎講座」に参加
- ☆ 「友の会」自主事業の実施
- ☆ 友の会誌の発行・・・年 4 回(4 月・7 月・10 月・1 月)
- ☆ 松浦武四郎記念館が主催する行事に支援・協力

主な事業は次の通りです。

- 神鏡を訪ねるバス研修旅行
- 大黒屋光太夫顕彰会との交流会
- 市政バスを利用した研修ツアー
- 友の会主催の特別講座(蝦夷屏風の講座を含む)
- 活動展示(三雲ほっとギャラリー・松阪市市民活動センター)
- 等々

役員への想い

役員(会計) 中島 昭光



飯田会長から、松浦武四郎記念館友の会への誘いの話がきっかけで役員をお受けすることになり早や3年目を迎えました。昨年度から会計と云う大役を就任することになり先輩の役員さん方の意見・アイデアをいただき、会長からの指導のもとに務めさせて貰っています。

今年から、地元地域の役員も受けることになりまして、昨年までとは違った生活リズムになっておりますが、友の会の発展に少しでもお役に立てればと思っている次第です。

会長からの依頼もあり松阪市ボランティア連絡協議会の諸行事にも出来る限り参加させて貰い、何事にも体験をして学びこれからの友の会発展に繋がればと思っております。

毎月第2日曜日10時からの武四郎講座終了後には友の会役員会を開催して、活動計画などを話し合った後は都合の付く役員同士で親睦を保つ目的もあり、昼食に行って武四郎に関する事、友の会のことなど話し合い有意義な時間を作っております。

これからも活動を通じて会員さん方々との絆を大切にしていきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

バス研修旅行報告

恒例となった「武四郎が天満宮に奉納した神鏡を訪ねる旅」を4月26日に『武四郎を読む会』と『友の会』共催で実施しました。

四回目となった今年は、奈良県桜井市の与喜天満宮と長谷寺を訪ねる旅に39名の方が参加されました。又、武四郎が与喜天満宮を訪れた日を偲んで、毎年5月9日には武四郎まつりを催しているとのことでした。

天候が心配される中で、帰路では少しの雨に見舞われましたが、現地では雨に降られず、心地よい気候の中で過ごすことが出来ました。

与喜天満宮では金子宮司さんにより、由緒の説明をお聞きした後、正式参拝をし、本殿の裏の湧水をいただいたり、周辺を拝見しました。

昼食は旬の筍ご飯定食をいただき、参道では草もちや奈良漬をお土産に買うなどしました。

午後には長谷寺へ入山し、咲き始めたボタンを鑑賞すると共に境内の拝観をしました。

参加していただいた2名の方に感想文をお願いしました。



拝殿にて説明される金子宮司



お話を聞く参加者

研修バス旅行に参加して

高橋 雅士 (会員)

翌朝、いつもの散歩をしていて膝に痛みが走った。研修旅行では大して歩かなかったのに変だなあ。ああそうか、与喜天満宮の階段だ。普段平地しか歩いていないので、天満宮と長谷寺の階段が膝に負担がかかったのだ。山道を歩いた武四郎の健脚に改めて感心する。武四郎が奉納した鏡に触り、石柱も見てきた。ご本尊の与喜天満神はおでかけしていたが、写真を見て私はパラミタミュージアムで見たことを思い出した。一度見たら忘れられない。長谷寺では背丈10mある十一面観音の足に触ってきたが、宝物殿の国宝「銅版法華説相図」に感動、他の仏像もとても良かった。武四郎も見たのかなあ。

研修バス旅行の感想

沼田 希代子 (会員)

四月というのにいつまでも寒いですが天気はいい。桜井市の與喜神社と長谷寺への研修旅行に参加させていただいた。

連歌橋、みやげ物店をすぎると與喜神社への二百段程の階段が與喜山へと続いている。石段は浅くて苔が生え、いかにも日本最古の天満宮の風情である。金子宮司から正式参拝を受けて、武四郎寄進の銅鏡をこの手に抱かせていただく。ずっしりと有難さが伝わってくる。その後、本殿裏からわきで清水をいただく。渴いたのどに清々しい。身体の内からも外からもご利益がありそう。

咲き初めたぼたんや春の花々に迎えられ長谷寺の登廊へ、舞台からは緑がまぶしい。十一面観音菩薩の特別拝観で観音様の足元にひざまづき願い事をする。暖かな慈悲の心が伝わってくる。

快い、楽しい旅、ありがとうございました。



鏡を拝見する方々

友の会主催の武四郎講座開催(25年4月14日)

友の会会員の橋本晃さんを講師に迎え、「隔靴搔痒の日々」〈北畠氏の末裔を語る〉を演題にお話しいただきました。美杉には北畠神社があり、三重県と繋がりが深い北畠一族の移り変わりとその子孫の状況について、まさに隔靴搔痒の気持ちであったろう・・・と話され、いつもの講座とは趣の異なる講座でした。



系図を示し説明する橋本さん

大黒屋光太夫顕彰会との交流会実施

6月27日に鈴鹿市伊勢若松出身の大黒屋光太夫について研修しました。15名の方が参加され、記念館及びゆかりの地を事務局長及び語り部の方々の案内で見学し、大黒屋光太夫顕彰会の方々との交流会を行いました。光太夫顕彰会は約20年前に発足し、平成18年に記念館が出来ました。武四郎記念館は18年前に出来、友の会は5年前に発足しています。おのおの歴史の違いを認識し、今後に向けて活動のあり方を考え直す機会となりました。

大黒屋光太夫は1782年に白子から江戸に向けて出港した神昌丸が嵐で漂流しロシアのカムチャッカ列島のアムチトカ島に漂着し、1791年にペテルブルグで当時のエカテリーナ皇帝(女帝)に拝謁し、日本へ帰国後も波乱万丈の人生を送りました。



伊勢若松駅前光太夫像

松阪偉人顕彰団体協議会(仮称)の発足について

松阪市内で活動する5つの偉人顕彰団体(蒲生氏郷公顕彰会、茶王大谷嘉平衛翁の会、射和「昔を語る会」、松阪商人を語る会、松浦武四郎記念館友の会)が集まり、互いの活動を紹介し合い、それぞれの団体が更に連携をとり活発になることを目標として、準備会が発足しました。今後情報交換や交流をして、情報発信に努めていきたいと思っております。

友の会からは、飯田会長を含め役員3名が参画し、秋頃に設立できるよう検討されています。

北海道の方が、友の会へ入会されました！！

北海道阿寒町在住でNPO法人釧路湿原やちの会の監事をされている神戸忠勝さんが昨年末に友の会へ入会され、今年の武四郎まつりでは音威子府村のコーナーでPRのお手伝いをさせていただきました。更に、神戸さんの紹介でボランティアをされている2名の方が4月に入会されました。地方紙の釧路新聞で「北海道で、松浦武四郎記念館友の会へ入会」として紹介されました。今後も地域での会員が増え活動が活発になるよう期待します。

原田二郎84回忌法要に役員が参列！！

昨年度に公益財団法人原田積善会から、エゾヤマザクラの案内看板設置の助成金を戴いた関係で84回忌法要があり、友の会役員4名も参列し、命日の5月5日に原田家の菩提寺である松阪市新町の樹敬寺(浄土宗)で厳かに営まれました。

境内には原田二郎三回忌追善に建立された歌碑があります。

原田二郎は嘉永二(1849)年10月10日に伊勢の松阪城下(現在の松阪市殿町)で生まれた。21歳の時に世古延世(のぶつぐ)に随行して京都に行き更に東京へ移るが、洋学・英語を学びたいと横浜に移る。明治6年に大蔵省に入省、横浜銀行の前身の第七四銀行頭取を歴任。松阪に戻って「40年間の見積書」(資金を運用しその利益を社会貢献に使う)を作成する。その後、経営不振となった鴻池銀行の再建に尽力した。大正九(1920)年に私財(1020万円)を抛出し原田積善会を設立し、以来、運用益で多くの団体に助成金を贈っている。昭和五(1930)年5月5日に逝去。



参列された方々

【松浦武四郎記念館よりのお知らせ】

武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

- | | | |
|---------------|----------------|----------------------|
| 8月11日(日)10時～ | テーマ：武四郎の蝦夷地探検 | 講師：山本 命学芸員 |
| 9月8日(日)10時～ | テーマ：エカシ フチの思いを | 講師：戸壁 太(アイヌ文化アドバイザー) |
| 10月13日(日)10時～ | 友の会が主催します。 | |
- テーマ：原田二郎と積善会 講師：世古 潤壹良 様(公益財団法人 原田積善会 理事)

展示のご案内

- ◆テーマ：武四郎と古物収集 7月21日(日)まで
明治維新後の松浦武四郎は古物の収集も盛んに行っており、『撥雲余興』と題した図録を出版しました。武四郎の集めたコレクションから、当時の好古家たちに影響を与えた武四郎の姿を紹介します。
- ◆テーマ：武四郎とアイヌ民族 7月23日(火)～9月29日(日)まで
松浦武四郎は幕末に6度にわたって蝦夷地の調査を行いました。調査を通じて出会ったアイヌ民族との交流の様子を、調査記録や地図などから紹介します。
- ◆テーマ：武四郎と和歌 10月1日(火)～12月1日(日)まで
松浦武四郎はその生涯で多くの和歌を詠みました。武四郎が詠んだ和歌に関する資料を展示し、歌人としても活躍した武四郎の姿を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

年会費の納入についてのお願い

平成25年度の年会費(個人会員500円、家族会員1000円)が未納の方は、役員又は記念館事務局へ納入して頂くようお願いいたします。

お詫び・・・友の会だより第20号(平成25年1月発行)の3頁＝講座開催で誤りがありました。

お詫びすると共に訂正します。

誤：又、調査の過程で三重県立博物館にE・S・モースの子孫の方が勤めて居られることが分かった
正：又、E・S・モースの子孫の方がボストン美術館 日本美術課長のアン・ニシムラ・モース女史であることが判かった